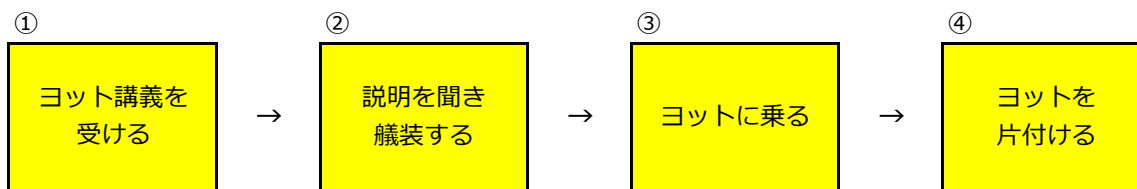


ヨットプログラムの流れ

● ヨット体験の流れ



- ① ・ ヨット体験の前に「ヨット講義」を対象者全員で受講する。（主に前日の夜に30分程度）
- ② ・ 浜に集合し、ヨットの道具を用意する。
 - ・ スタッフの説明に沿って、ヨットを艦装（ぎそう）する。
 - ・ ライフジャケットを装着し、準備体操を行う。
- ③ ・ どのヨットに誰が、どの順番で乗るかをあらかじめ決めておいて、ヨットに乗る。
- ④ ・ 合図があったら、浜にヨットをあげ、随時片付ける。



● 注意点（安全な活動のために）

- ① ・ ヨット体験をする人全員でヨット講義を受け、「各部の名称と役割」、「実際の操作」、「危険について」、「ロープワーク」などを学びます。
- ② ・ スタッフの説明をよく聞き、一つひとつ確実に組み立ててください。
 - ・ ポイントとなる箇所については、スタッフのチェックを受けてください。
 - ・ 艦装中、「ブームパンチ」に気をつけてください。
- ③ ・ 活動中は、スタッフの指示に従ってください。
 - ・ ヨットには、1人ずつ乗船してください。
 - ・ 決められたエリアの中で活動願います。
 - ・ 「ブームパンチ」に気をつけてください。
 - ・ 「沈」したら、その場から離れないでください。
 - ・ 「沈」したら、風上に船を向け、センターボード出し上から乗って船を起こしてください。

● 活動のポイント（より上手に操作するために）

- ① ・ 「何を操作すれば、船はどう動くか」頭の中でイメージをふくらませておいてください。
- ③ ・ センターボードをしっかり下ろすと、船は安定します。
 - ・ 水面に藻が大量に発生している時は、センターボードをあげると進みやすくなります。
 - ・ 方向転換するときは、ティラーを前に押してターンするのを原則とします。（タック）
 - ・ メインシートを引っ張るとセールが風をとらえやすくなり、スピードが増します。
 - ・ メインシートをゆるめると、風の影響をおさえることができ、船は安定します。
 - ・ ティラーのロープを引っ張ると、ラダーが下がり、方向転換が容易になります。
 - ・ ティラーのロープをゆるめると、ラダーが上がり、藻がからまなくなります。
 - ・ 船の向きやスピードの調整に役立つため、常に風の方向を意識します。

● 指導者の方へ（指導する際、配慮していただきたい点）

- ① ・ 常に危険と隣り合わせの活動だということをあらかじめ伝えておいてください。
- ② ・ 服装確認、トイレ確認を済ませ、メンバーがそろったらお声かけください。
- ③ ・ スムーズに交代できるよう、時間配分や交代メンバーの待機のさせ方など工夫願います。